

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス ばびぶべ		公表日	令和8年5月25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
						環境・体制整備
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7名	0名	利用人数に対して、適切に職員の配置を行うことができている。	子どもの活動内容によっては、職員の手が十分じゃない時もあるので、なるべく適切な職員配置を心がけたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5名	2名	段差も少なく、室内には手すり、室外ではスロープが付いています。また、活動などを行う時は、ホワイトボードを活用し視覚化する。	行っていない状況である。現在は、片付けも進んでおり、過ごしやすき空間を作りつつある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6名	1名	活動するスペースは広く確保できている。毎日清掃活動を行っているので、清潔感を保つことができている。	活動で使用している道具の配置場所がバラバラの為、探すの苦労している。活動用の道具を保管できるような整理整頓中です。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7名	0名	各部屋に襪や扉がついている為、個別で活用したい際は、空間を区切ることができるようになっている。	ことがあるので、使用していることがわかるよう、看板などで視覚化をしていくことを検討中です。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7名	0名	毎朝ミーティングを行い、前日での活動の振り返りやその日の活動内容などをみんなで話しをして決めている。	出勤体制によって振り返りが参加できない職員がいる為、週に一度職員が全員集まり話し合いができる環境を整えていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7名	0名	保護者のご意見はしっかりと受け止めて、職員で共有し改善に図れるよう努めている。	日々の悩みや意見などを、個別単位で把握できる機会を設けられるよう努める。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7名	0名	週に一度、職員が全体で集まり意見交換や情報交換を行う機会を設けている。その内容をみんなで共有し、業務改善へ繋げている。	職員の個人的な悩みや意見なども把握し、改善出来るように努めている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6名	1名	協力会社の定期的な評価があり、評価結果を真摯に受け止め業務改善を図っています。	引き続き、外部評価を依頼し業務改善に努める。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7名	0名	1年に2回ほど外部の講師の協力のもと色々な分野の研修を行なっています。	福祉以外にも法律関係の研修も参加しています。今後は、地域の研修や技術面の研修などにも参加していきたいです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7名	0名	ホームページに掲載することで公表を行なっています。	定期的に支援プログラムの見直しを行い、より良い支援に繋がっています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7名	0名	保護者に対して適切にアセスメントをとり、課題やニーズを把握を行い、サービス計画を作成に取り組んでいます。	定期的にアセスメントを行い、子どもや保護者のニーズや課題を確認し、より良い支援に繋がっていききたいです。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7名	0名	ミーティングを行い、作成の際に必要な情報や子どもたちの様子などを細かく確認を行い作成に努めるようになっている。	定期的にミーティングを行い、子どもたちの状況などの確認を行い、より良い支援に繋がっていききたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7名	0名	日々の実施記録表の中に個別支援計画を記載しており確認できるようにしています。	支援計画の見直しを行いながら、しっかりと職員間で共有を行なっていききたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7名	0名	アセスメントシートにて保護者の意見を記載している。また、活動の様子を観察を行い、気になることは記載し職員が共有できるように行なっている。	定期的にアセスメントを更新していき、より良い支援ができるよう努めていきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7名	0名	ガイドラインに沿った個々の課題を設定し支援を行なっています。	児童によっては支援が不十分な場合もあるので、個々の課題を適切に設定し改善しながら支援に繋がっていききたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7名	0名	ミーティングを行い、支援プログラムについて話し合いを設けている。	今後も、職員同士で話し合いを行い、子どもたちの課題にあった活動プログラムを考えていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7名	0名	子どもたちの状況を見て、月によって活動内容を変更したり、同じ活動でも内容を変えるなどの工夫を行なっている。	月によっては固定化になってしまうことがあるので、内容を充実させるためにも、職員も研修に参加したり情報収集を行うなど工夫していきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6名	1名	状況を見て、個別で対応を行ったり小集団活動で支援を行うこともある。	子どもたちの状態を把握した上で支援を行なっていききたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5名	2名	活動前に打ち合わせを行い、活動内容の確認、職員の配置、必要な道具準備などを細かく確認を行なっている。	引き続き活動前の打ち合わせをし、職員がスムーズに連携ができるよう取り組んでいく。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6名	1名	話し合いの場を設け、活動での子どもたちの様子など振り返りを行い、職員で共有を行っている。	今後も活動後の振り返りを行い、より良い支援ができるよう努めていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7名	0名	活動の様子で、子どもたちの変化（良い事・悪い事）を細かく記録をとっている。	日々の記録を活用し、子どもたちの得意・不得意を見つけ、より良い支援も模索して行きたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7名	0名	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	モニタリングを行い、家庭・学校側での様子を踏まえ、子どもにとって必要な支援を見直して行きたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7名	0名	ガイドラインに合わせて活動を組み合わせ、支援を行っている。	今後もガイドラインに沿った支援の工夫を行い、活動参加できる様にしていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7名	0名	自己決定力に欠ける児童もいるので、選択肢を複数用意したり、職員も間に入り自己洗濯できるように支援している。	選択方式以外にも絵カードを見ながら自分で選べるような工夫も考える。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7名	0名		児童発達管理責任者だけでなく、必要に応じて職員にも参加を促していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7名	0名	主に学校とは連携が取れており、子どもたちの変化などがあればお互いに情報共有ができる体制になっている。	今後もお互いが情報共有ができるよう努めて行きたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7名	0名	学校のホームページなどを活用し下校時間のミスがない様になっている。また、急な下校時間の変更などがあれば事前に学校側から連絡が来るようになっている。	時々、下校時間のミスなどがあるため、子どもたちや学校の先生などと情報共有を行いたいがミスが起こらない様に努めたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3名	4名	系列店舗からの移動の際は、移動前の児童発達管理責任者から事前に情報をもらうことができている。また、保護者や相談員からも情報を情報共有を行っている。	今後も他事業所や相談員を通じて会議を開き、基本的な情報共有を行って行きたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5名	2名	会議を開き、利用児童の支援内容や事業所での状況などを共有することができている。	今後も情報共有を行って行きたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2名	5名	児童発達支援センターとの連携が図れていない。	今後は地域の児童発達支援センターとの連携を図り、研修する機会を設けられる様に行きたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3名	4名	地域の公園や公民館などに遊びに行くことはあるが、一緒に活動することはない。	インフルエンザやコロナなどの感染症などの影響もあり、関わる機会を設けられなかったため、交流できる機会を作っていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3名	4名	協議会などに参加できていない状態である。	市町村から届くメール情報などを確認し、積極的に参加できるよう努める。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7名	0名	日頃から連絡朝アプリや電話やLINEなどを通じて子どもたちの事業所での様子などを細かく情報共有を行っている。	引き続き、情報共有を行い共通理解を持って支援していきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7名	0名	年に2回、保護者交流会を開催し子育てに対する悩み相談などの情報共有を行っている。	今後も保護者や児童に必要な研修情報や内容があれば発信していきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7名	0名	契約時に利用者負担・運営規定についての説明を行っている。	今後も、丁寧な説明を行ってまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7名	0名	計画作成時に、家族や子どもの思いなどを丁寧に聞き取るよう心がけている。	今後も児童や家族の思いを確認を行いながら、丁寧に聞き取りを行ってまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7名	0名	利用計画書を最後は、説明を行い同意を得ています。	今後も丁寧な説明を心がけます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6名	1名	家族からの相談があれば、個別での面談もしくは電話での相談対応を行っている。安心して相談できる環境を整えている。	引き続き、些細な事でも相談し安心してもらえる様に支援してまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7名	0名	年に2回、子育てサロンを開催しており、保護者同士の交流の場を設けている。	保護者同士での交流の場を設けているが、兄弟同士での交流の場は設けたことがないので、みんなが楽しめる活動を開催したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7名	0名	苦情対応は管理者が中心に体制を整えており、迅速に対応できるようにしている。	今後も管理者を中心にスタッフも交え迅速に対応できるようにしていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6名	1名	毎月のだよりを発行している。また、HPも運営を行っており、子どもたちの普段の活動様子を見られるようになっています。	今後はInstagram等を開設し、より手軽に子どもたちの様子が保護者に伝わるよう努めたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7名	0名	鍵付きの棚にて保管して個人情報に十分配慮している。	事業所内の出入りする事が多いため、ファイルの置きっ放しに気をつけて個人情報漏洩に注意を払っていきたい。

非常時等の対応	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7名	0名	言語以外にも絵カードやホワイトボードを使った筆談などを利用し、保護者又は子どもたちと意思疎通を図るよう努めている。	個々にあったコミュニケーション方法で意思疎通を測っていきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	2名	5名	あまりできていない。	今後は、地域の方等を交えた活動などを開催を検討していききたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7名	0名	各マニュアルを作成しており、職員・保護者にも集中力を行なっている。また、訓練も行い流れを確認している。	引き続き、適切な対応ができるようにマニュアル周知を行いながら訓練の実施もしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7名	0名	BCPを策定し、避難場所の確認や災害が起きた際の対応の訓練を年に2回取り組んでいる。	どんな災害が起きても対応ができる様に、マニュアルを作成したり、保護者や児童、職員間でも情報の共有を行なっていききたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7名	0名	服薬のある児童に対しては保護者と連携し、決められた時間を守り服薬を行なっている。	今後も保護者と連携を行い、子どもの状況を連絡帳アプリや電話などで伝えることを行なっていききたい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7名	0名	保護者から情報（医師の診断書）をもらい、アレルギー対象の物は食さないよう職員がそばにつき見守りを行なっている。	今後も保護者との情報共有を行い、子どもたちの様子に変化があれば対応できるようにしていきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7名	0名	安全計画を作成し、外部で開催されている研修に参加し知識を深めている。また、得た情報は事業所内で共有を行なっている。	定期的に安全計画を見直し、より安全に配慮し支援していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7名	0名	保護者のLINEやメール、電話など連絡が取れるように対応しています。だが、	安全確保に関して、保護者への周知を行うと共に、非常事態時の待ち合わせ場所の確認をしっかりと行って行きたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7名	0名	ヒヤリハットが起きた際、ヒヤリハット報告書を記入してもらい職員同士で共有を行う。また、再発防止に向けてミーティングを行い確認を行う。	ミーティングの中で、ヒヤリハットが起きる要因など職員同士で話し合いを行い、事前に防げるようにしていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7名	0名	定期的に研修を行い、情報共有を行なっている。	外部の研修にも参加し、虐待防止の知識を身につけ、職員間でも情報共有できるようにしていきたい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7名	0名	契約時に、身体拘束についての説明を行い、同意書を記入してもらっています。現在、該当児童はいませんが、必要時には、契約書に記載し対応していきたい。	現在、該当の児童が在籍していませんが、身体拘束が必要な児童を受け入れる際は、しっかりとした準備を行い支援していききたいです。